

やあめ

143号

五木村議会だより 2023.1.31発行



「どんどや」(頭地地区)

- 令和4年度一般会計補正予算 911万5,000円減額 (12月定例会)
- 堂々たる中学生議会 (一般質問)
- 新年度予算への反映を! (決算認定審査特別委員会)

議長新年あいさつ

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年を、ご家族お揃いで迎えられたこととお慶び申し上げます。

年頭に当たり、議会を代表しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年6月5日に熊本県知事が来村され、村民に対し新たな流水型ダムの決断に至った経緯と新たな五木村振興計画の方向性についての説明がなされ、数回の協議をしてまいりました。県知事としては、令和4年度末を目途に、新たな五木村振興計画を策定することを示されました。

また、昨年9月27日に初めて、五木中学校の3年生の生徒の皆さんによる総合的学習の一環として、「こども議会」が開催され、ダム問題・地域振興について質問がなされました。私たち議会としてもっともっと勉強しなければと痛感した次第です。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大は、私たちの

生活に今もなお影響を与え続けています。村民の皆様方におかれましては、基本的な感染予防対策の徹底を更にお願いたします。

本村も少子高齢化・過疎化・ダム

問題など課題が山積しており、執行部と切磋琢磨しながら議会議員一丸となり力を結集し「五木村づくり」を目指して、より住みやすい五木村となるよう取り組んでまいります。

結びに、この一年が災害のない静穏な年でありますとともに、村民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



五木村議会議長

岡本 精二

12月 定例会

こんなことが
決まりました

令和4年度五木村一般会計予算、 911万5,000円を減額し、 総額を40億2,331万5,000円

令和4年第4回五木村議会定例会が、12月14日から12月16日の3日間の会期で開会。上程された案件は、「条例の改正」5件、「一部事務組合の規約変更」1件、「工事請負変更契約の締結」1件、「補正予算」4件、「議員提案」1件の合計11件。

一般質問は第2日目に、4名の議員が「学校教育」や「台風災害」、「雇用問題」、「県道25号改良」、「消防機能の充実と村民の安心安全」など村政について質した。

また、9月定例会で決算認定審査特別委員会に付託されていた「令和3年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定」については、指摘事項を次年度予算へ反映されるよう要望し、10件の全会計を認定した。また、残りの議案はすべて全会一致で可決された。

— 第4回定例会 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案 名		園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果
議案 第60号	五木村職員の定年等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第61号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第62号	五木村手数料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第63号	五木村人権擁護に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第64号	五木村後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第65号	熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第66号	工事請負変更契約の締結について(村道横手線災害復旧工事)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第67号	令和4年度五木村一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第68号	令和4年度五木村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第69号	令和4年度五木村介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第70号	令和4年度五木村情報通信事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議員提案 第2号	豪雨災害等からの国土を守る治山事業及び森林整備の強化を求める意見書案について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

村道土会平線道路災害復旧工事

第6回
臨時会

請負変更契約の締結を可決

令和4年10月18日、令和4年第6回五木村議会臨時会を開会。

工事請負変更契約の締結議案1件が上程。令和2年7月豪雨災害で被災した村道土会平線の災害復旧工事において、構造物の位置の変更と水道管の移設の追加が生じ、工事費6,482,699円の増額となり、工事請負変更契約の変更となった。また、工事請負費が5,000万円以上となったため、議会の議決が必要となった。「対岸の県道25号が台風14号で被災しているので、迂回路となるよう早期の完成を」などの意見が出た。この議案について全会一致で可決した。

— 第6回臨時会 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案 名		園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果
議案 第55号	工事請負変更契約の締結について(村道土会平線道路災害復旧工事)	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決 全員賛成

村道土会平線道路災害復旧工事



災害発生時



災害復旧工事中（令和4年10月末完成済み）

五木村一般職の職員の給与に関する 条例等の一部改正を可決

第7回
臨時会

令和4年11月24日、令和4年第7回五木村議会臨時会を1日間開会。条例改正1件、補正予算3件が上程。国の人事院勧告及び県人事委員会勧告を受け、職員の若年層の給与と勤勉手当の改定について提案された。また、補正予算もこの改正に伴う補正分を計上。

「財源が財政調整基金となっているが、他の財源はないのか」などの意見があった。全会一致で全議案可決した。

— 第7回臨時会 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案 名		園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果
議案 第56号	五木村一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	欠	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第57号	令和4年度五木村一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	欠	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第58号	令和4年度五木村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	欠	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第59号	令和4年度五木村介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	欠	○	○	○	原案可決 全員賛成



執務をしている庁舎内の職員

堂々たる中学生議会

教育長 将来、村に貢献できるような人材を

中学生議会について

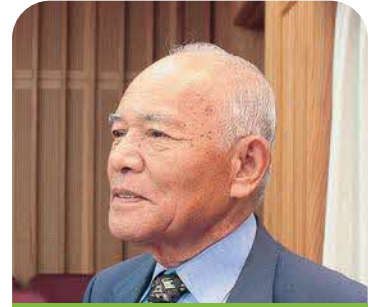
質問 昨年9月、五木中学生

による初の議会が開かれ、将来この地域を担う若者が堂々と村政の課題や村の振興について、郷土愛に燃えた熱意のこもった発言に対し敬意を表すと共に、私も議員にとっても勉強になり、更に村の発展のため尽くさねばと強く感じた。

今後この若者が我が古里を愛し村に残って地域発展のため尽くす、独自の教育指針はあられるのか。

教育長 村の教育振興計画

の基本理念は「豊かな心と確かな学力を持ち、ふるさと五木を大切に作る人づくり」である。



西村 久徳 議員

今、村政の最大の課題は何か

質問 下流域を災害から守る

ため国県は、流水型ダムを計画し半世紀以上にわたる苦闘の課題を再現しようとしている。五木村民はどこまで犠牲を払わなければならないのか。

又、主産業である林業は木材価格の低迷で厳しい現状が続き、商業にしても同様である。この現状を村長としてどう捉えているか。

村長 基本的に林業の山村であり、林業振興、産業振興、

住民の福祉、教育、村の担い手を育成することが大きな目標かと思う。

質問 急速に進む少子高齢化、過疎化の解消の取り組みは。

村長 村として交流人口を増やしたり、移住定住政策を進める。

質問 国県が今進める川辺川

流水型ダムは、五木村の将来

にメリットはあるのか。五木村は下流域の犠牲になるだけで、五木村を守るための五木ダム、梶原川、五木小川、入鴨、平沢津谷に土砂が流れ込まないよう大きなダムを造れば相良村に計画する巨大ダムは半分で良いのでは。

村長 村の振興がどうなるか

将来五木村を築ける基礎が見えるとそれをメリットと変えていく。支流の川にもダムの要望はしている。

村内の空き家対策について

質問 各地で空き家が増加しているが何戸あるのか。

九折瀬災害から10年になるがどうするのか。

ダム対策課長 空き

家は93戸。基本的に個人の財産であり制度上難しい課題がある。

質問 一昨年豪雨と昨

年9月の村内で相当の被害があり、一日も早



平成24年に被災した空き家

い復興を。

建設課長

村道、林道合わせて76ヶ所であるが一日も早い復旧に努めていく。

村分収林について

質問 戦後村の主産業として

先人達が拡大造林し今伐期を迎える中、木材価格の低迷で大変な時であるが行政に知恵と努力を出してほしいが。

産業振興課長 契約の延長

や、作業道の計画をしている。

農林業で若者の雇用を

木下村長 先進地の研修をし、国・県と協議を



藤本 新一 議員

農林業で雇用の場を

質問 耕作放棄地対策としてハウス栽培をして農産物生産をし雇用の場とする村長の考えはないか。

村長 ハウス栽培は初期投資が高額であるが、雇用の場の創出として、国・県と協議をしたい。

質問 道の駅での農産物の出荷が減少しているが、取締役会などで検討はされているのか。

村長 集荷に一人雇用しているが、出荷増にはなく、農業を担う若い人が必要と考え検討している。

質問 道の駅の設立目的の一つに、「村民の所得向上」であるが、収益もない。ハウス栽培で若い方が頑張れるよう

行政での指導育成が必要ではないか。

村長 行政が新しい作物なり、いろんな品種についてもハウス栽培等を推奨しながら産業振興をやるべきと思う。五木でも高冷地で夏イチゴなど成功されている事例もあるので、高齢者でも所得が上がるようなものも検討しているののでしっかりと取り組んでいきたい。

質問 県農林水産部森林局が村内で林業高性能機械の午前中は役場で座学、午後は県有林での実証実験デモンストラーションがあった。機械は高価で業者が買えるようなものではなく、重量も14トンと施業後には水路（みずみち）が出来、林内からの土砂流出等の心配もある。産業振興課長はどのように受け止めたか。

産業振興課長 地形や土質等で使用がかなり制限されると思う。また、一般の事業者が購入し利用できるのは現時点ではないかなと考える。

質問 伐採は機械化され、若い方の参入はあるが、木材搬出跡地の再造林を担う人材不足の件を村長はどう考えるか。

村長 ヨーロッパで言うとドイツなどから林業を学んで、

今の日本の搬出技術又は育林技術が来ており、外国でも架線集材と機械を合わせて地形にあった活用をされている。特に今回の実証実験は一番労働災害が多い伐採、枝打ち、搬出等をすべて機械でというシステムである。造林事業の問題は、村内に新しい事業体もあるので意見交換をしながらしっかりと取り組んでいきたい。

質問 造林事業費が働く方々に賃金として回ってこない。若いグループに直接事業費を払い意欲が出る賃金体制を作る考えはないか。

村長 先進事例として、地域おこし協力隊の移住者の方が森林整備を担っている地域が四国の徳島と高知にある。今年度中に関係者で視察研修を行い、自伐林家として定住を含め、雇用拡大につながる施策を検討している。

質問 蒲島県知事は「球磨川は宝」と発言をしており、宝の球磨川は山元に多くの住民が住み、森林整備に汗を流し守ってきたから球磨川がある。緑の流域治水等の計画もあり、全ての国民が森林整備に負担する対策を国、県に要

望する考えは。

村長 今森林環境譲与税として前倒しして村に配分され、経営管理組合を創ってそのゾーン分けに取り組んでいる。令和6年度から環境税として国民から均一に負担いただくよう計画されている。流域治水でも森林整備の計画もあるので、五木の山を宝として守っていきたい。

質問 CO₂温暖化対策として企業との対応は。

村長 今Jクレジットの登録を進めている。登録後にはクレジットの認証を受けて販売をすることになるが、現在2社ほど問い合わせがある。

質問 杉苗木の新品種でエリートツリーがあり、再造林、下刈り等経費が軽減されること。経済林的な苗が公益的な樹種かわからないが、検討してみる必要があるのではないか。

産業振興課長 エリートツリーは特定母樹ということですが、県でも進めている。2030年までは林業用の苗の3割、2050年までは9割を目指すと言われていて、利用できるようにしたら造林苗木として進めたい。

県道 25 号線（宮原五木線）の改良を

村政を問う

一般質問

木下村長 村と球磨郡全体の振興策として取り組みたい

県道25号線の改良について

質問 県道25号線（宮原五木線）を国道に昇格させ、トンネルを掘ったり、急カーブなどは改良して全体的にもっと安全な道にするため、国や県に議会も一緒になって要望してほしい。この道路は令和2年7月豪雨災害以来球磨郡内の車両の交通量も増えているが、冬場は積雪で通行出来なかったり、急カーブなどが多く危険箇所も数力所ある。3キロくらいのトンネルを掘れば、それだけで7〜8分位早くなるし距離も近くなり、積雪の心配もなくなる。五木村はもとより、球磨郡全体の振興策にもかなりの影響がある



田山 淳士 議員

と思うが、村長としての考え方は。

村長 県道宮原五木線については、地元の座談会などでもカーブがきつかったり狭いところがあるなど伺っている。また木材搬出系の大型車両が通行したり、観光的にもカーブが多く時間がかかるなどの意見も伺っている。隣接町村も含めて球磨郡全体の振興になればトンネルなども視野に入れて取り組んでいきたい。

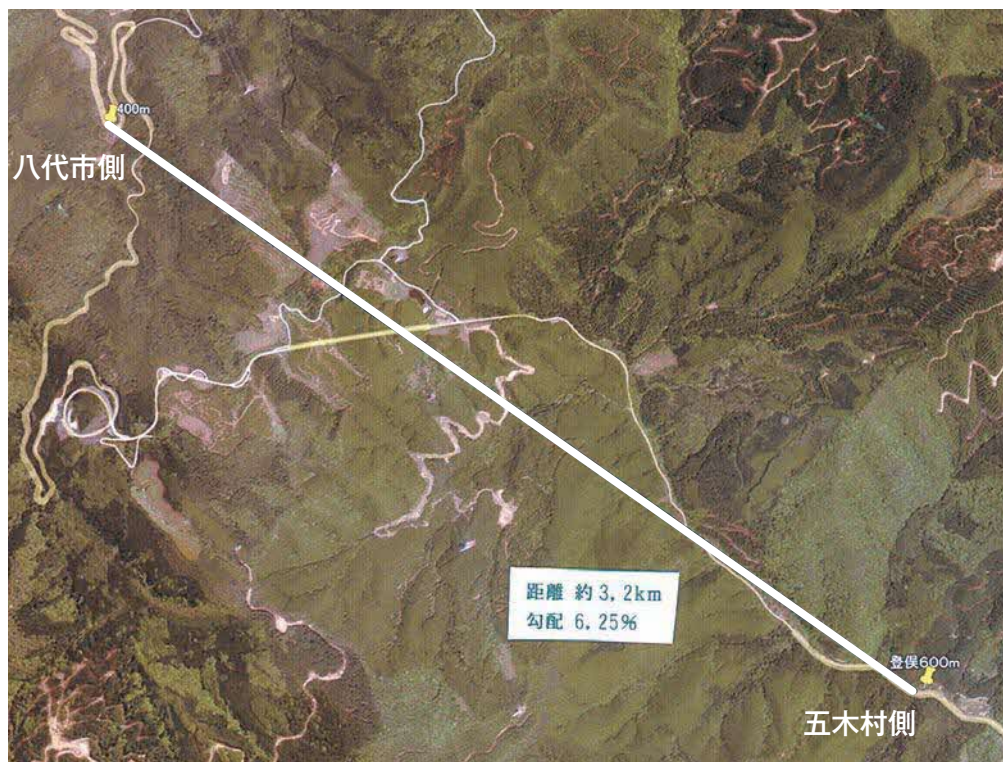
五木温泉センターの改修について

質問 温泉センターの改良を考えているようだが、センター内にトレーニング用機械を設置して村民の運動不足解消になるような施設に改良する考えはないか。

村長 今は、社会福祉協議会の2階にルームランナーなどの健康増進に関する機械を設置しているが利用者は少ない。

質問 社協では機械を設置してもなかなか入りにくいのではないかと思う。温泉センターならわざわざではなくて、ついでに気軽に利用できると思うが、ぜひとも前向きに考えてほしいが。

村長 温泉センターには、家族風呂の要望なども出ている。今後の協議の中でそういういろんな提案を出して頂き改修に早く踏み切れるように思っているのでもよろしくお願いしたい。



ここにトンネルを（田山議員提案）

五木村の防災力について今後の展開は

木下村長 様々な検討をしていく



中村 俊也 議員

五木村の消防機能の充実と村民の安心安全について

質問 本村の消防団の定数は条例で130名となっているが、現在の基本団員と機能別団員数は。また、今後の体制作りについての考えは。

総務課長 今年4月1日現在で、基本団員数が73名、機能別団員が13名。計86名となっている。

村長 地域、会社等へ理解促進、自主防災組織の訓練の充実を含め、今後様々な検討をしていきたい。

質問 災害時の緊急車両の通行について、これまでどのような対処がなされたか。また、

村内のヘリポートの箇所と現状は。

総務課長 台風14号で県道道原五木線と県道久連子落合線が通行止めとなった際には、八代広域本部と連携を取り対応した。ここ数年は緊急車両の出勤はなかった。ヘリポートは北分署を含め、村内に10カ所ある。現状としては、下梶原のグラウンドにあるヘリポートが、携帯電話の基地局が出来たことで使用に支障が出ているため、整備の必要を感じている。

質問 防災行政無線がアナログからデジタル化となったが、効果や問題点は。

総務課長 メリットとしては、アナログ時と比べ音声は明瞭、混信に強い、電波が遠くまで飛ぶことがある。デメリットとしては、電波が弱いと音声が届きにくい、移動系においてバッテリーの消耗が早い、屋外スピーカの音が聞こえづらいという声をいただいている。戸別受信機の取り付けや屋外拡声の整備

を検討している。

質問 台風14号の際には、西地区の長期的な停電や庁舎内のシステムが打撃を受けるなど、電力のダウンによって村民への情報提供が滞る事態が起きた。今後の対応は。

総務課長 新しい発電機を取り付けや配線工事に向けて進めているところである。

質問 各地域に設置されている防災備蓄倉庫について、使用に関する周知や使用状況の確認は現在どのようなになっているのか。

総務課長 令和2年に「五木村防災備蓄倉庫の管理、利用に関する内規」が作られており、管理人は行政区の区長である。定期的に保管状況や外観の異常の有無を確認し、異常があれば役場

総務課まで連絡をもらうようお願いしている。また、消防団の分団長の方にも定期点検を年1回程度でお願いしている。

質問 五木村に、防災の拠点となる「総合防災センター」をつくる考えはないか。

村長 今後の五木村振興、防災教育、避難所を含めた多目的な施設が必要だと考えており、要望をしていきたい。



頭地地区に設置されている防災備蓄倉庫

新年度予算への反映を

9月定例会において、特別委員会に付託されていた「令和3年度五木村一般会計及び特別会計歳入歳出決算」は、2日間の審査、審議を行った。

執行部から主要施策の成果や歳入歳出決算書の説明を受けて、確認しながら、疑義を生じた事業などについて質問や資料の提出を求めた。

特別会計では、一般会計からの繰出金に依存する会計も多く、事業の見直しも視野に入れ、財源確保に向けても十分検討が必要であるなどをまとめ、特別委員会では指摘事項を新年度予算に反映されることを切望し、下記の意見を付して全会計認定した。

- ① 今後益々厳しい財政状況が予想されるため、10年間の財政計画と公有財産管理計画を早期に策定し、優先順位をつけ、実践に移すこと。
- ② 特別会計においても、それぞれの基金も枯渇してきているので、事業の見直しを含め、更新・維持管理等について検討し、国・県と協議をし財源確保に努めること。
- ③ ふるさと五木村づくり計画も残り1年間となるため、事業の見直しを行い、五木村振興に低予算で効果のある事業に取り組むことと、令和6年度以降の財源確保等に取り組むこと。
- ④ 歴史文化交流施設ヒストリアテラス五木谷については、維持管理費に県振興交付金を充当するか、県営施設として運営できるよう県と協議を行うこと。

令和3年度 一般会計及び各特別会計総括表

(認定号数) 会 計 名	歳入 歳出	予算現額 予算現額	収入済額 支出済額	不納欠損額 翌年度繰越額	収入未済額 不用額	歳入歳出 差引残額	基金積立
(認定第1号) 一 般 会 計	歳入 歳出	4,020,569,000 4,020,569,000	3,294,283,153 2,911,531,383	0 616,675,000	219,465 492,362,617	382,751,770 (繰越充当額 44,211,000)	170,000,000
(認定第2号) 国民健康保険特別会計	歳入 歳出	138,123,000 138,123,000	128,725,315 127,527,638	0 0	0 10,595,362	1,197,677	0
(認定第3号) ダム対策事業特別会計	歳入 歳出	1,384,000 1,384,000	1,381,896 1,379,404	0 0	0 4,596	2,492	0
(認定第4号) 簡易水道事業特別会計	歳入 歳出	34,020,000 34,020,000	34,103,098 33,276,185	0 0	0 743,815	826,913	500,000
(認定第5号) 農業集落排水事業特別会計	歳入 歳出	13,704,000 13,704,000	13,484,196 13,170,024	0 0	0 533,976	314,172	0
(認定第6号) 介護保険特別会計	歳入 歳出	228,611,000 228,611,000	233,164,583 219,296,776	0 0	0 9,314,224	13,867,807	5,525,000
(認定第7号) 代替地上下水道事業特別会計	歳入 歳出	14,854,000 14,854,000	14,869,741 14,189,677	0 0	0 664,323	680,064	500,000
(認定第8号) 後期高齢者医療特別会計	歳入 歳出	26,124,000 26,124,000	24,797,345 24,435,548	0 0	0 1,688,452	361,797	0
(認定第9号) 墓地公園特別会計	歳入 歳出	2,177,000 2,177,000	2,263,886 2,151,177	0 0	0 25,823	112,709	0
(認定第10号) 情報通信事業特別会計	歳入 歳出	47,544,000 47,544,000	47,043,024 46,991,991	0 0	0 552,009	51,033	0

おめでとーございます



たかた ちほ 高田 知歩さん 20歳(九折瀬)

●自己紹介

高田知歩です。今は尚絅大学に通っています。食品や栄養の勉強をしています、毎日授業や実習を頑張っています。

●二十歳になってやってみたいことはありますか。

いろいろな楽器を演奏することが趣味なので、今まで触ったことのない楽器を練習したいです。ストリートピアノも好きなのでいろいろな場所で

ストリートピアノを弾きたいです。

●将来の夢や目標は何ですか。

今、栄養についての勉強をしているので、管理栄養士の国家試験に合格し、管理栄養士として働くことが夢です。

●最後に村や議会に望むことがあれば教えてください。

活気のある村にしていきたいです。



中学生時代の恩師と

議会の動き(10月~12月)

10月

- 1日 五木村フェア阿蘇ミルク牧場(岡本議長)
- 4日 県)議員研修会(各議員)
- 5日 定例全員協議会(全議員)
- 広報委員会(第2回)

- 7日 第5回議会臨時会(全議員)
- 定例郡議長会議(岡本議長)

- 11日 郡)監査委員研修会(田山監査委員)

- 13日 広報委員会(第3回)

- 14日 郡)議員親善G・G大会(全議員)

- 18日 第6回議会臨時会(各議員)

- 決算認定審査特別委員会(各議員)

- 20日 全国過疎問題シンポジウム(岡本議長)

- 21日 例月監査(田山監査委員)

- 広報委員会(第4回)

- 25日 人吉球磨広域行政組合議会決算特別委員会(田山議員)

- 26日 臨時全員協議会(全議員)

- 29日 五木分校50周年記念式典(各議員)

11月

- 2日 定例全員協議会(全議員)

- 7日 定例郡議長会議(岡本議長)

- 9日~11日 全国議長大会及び行政視察研修(岡本議長)

- 15日 川辺川ダム対策調査特別委員会(全議員)

- 18日 定期監査(田山監査委員)

12月

- 19日 東小学校五木源フェスティバル(各議員)
- 川辺川ダム対策調査特別委員会(全議員)

- 22日 例月監査(田山監査委員)

- 24日 第7回議会臨時会(各議員)

- 県)広報研修会(各委員)

- 25日 人吉球磨広域行政組合議会定例会(田山・西村議員)

- 人吉下球磨消防組合議会全員協議会・第5回定例会(川邊議員)

- 最先端林業用作業機械デモンストラクション(各議員)

- 27日 満口県議議長就任祝賀会(岡本議長)

- 28日 決算認定審査特別委員会(全議員)

- 30日 川辺川ダム対策調査特別委員会(全議員)

12月

- 4日 球磨川流域橋梁着工式(岡本議長)

- 7日 議会運営委員会(各委員)

- 8日 川辺川ダム対策調査特別委員会(全議員)

- 定例全員協議会(全議員)

- 14日~15日 第4回議会定例会(全議員)

- 16日 川辺川ダム対策調査特別委員会(全議員)

- 19日 郡)正副議長・事務局長合同会議(岡本議長・中村副議長)

- 21日 経済常任委員会(各委員)

- 22日 例月監査(田山監査委員)

- 23日 人吉球磨広域行政組合議会定例会(田山・西村議員)

- 27日 ダム対策調査特別委員会(全議員)



笑顔あふれる五木っ子

VOL.12

五木村議会だより

やあめ

143号

2023・1・31発行

月 日 曜日 日直

大好きな五木村



五木東小学校 6年
よどがわ 淀川 幸愛さん

五木村にはよいところがたくさんあります。その中でも特によいところは、紅葉がきれいなところと地域の方々がとても優しいところです。

秋になると周りの山が

オレンジや赤、黄色に色づいてきれいだなと思います。授業が始まる前や終わった後に色づいている山を見ると「次もがんばろう」と思います。これから五木村のきれいな山を守っていつか大人になっても色鮮やかな山

を見たいです。

五木村の人はみんなとても優しく、すれちがう時も「おはよう。」「いってらっしゃい。」「こんにちは。」とおかえり。と声をかけてくれます。私はいつも後から挨拶をしてしまうので、自分から挨拶をして地域の方が笑顔になるようにしたいです。

私が大好きな五木村をこれからも守っていききたいです。

つぶやき

明けましておめでとうございます。
さて、令和5

年に入り早くも1ヶ月が経ち、村民の皆様は、それぞれの今年の目標があると思います。例えば、去年達成できなかった事を今年の目標にされ、さらに頑張ってみるのもどうでしょうか。私は村議会議員になって1年5ヶ月が経過し、抱負は「何があっても揺らがない心」で議員活動をする事です。また、自分の考えを文章で表現するのは難しいですが、それを克服することを目標にしたいです。

まずは、健康第一で1年間過ごしたいですね。
園田 良治

五木村議会広報委員会

委員長 田山 淳士
副委員長 園田 良治
委員 中村 俊也
委員 川邊 正美

次回の定例会は3月上旬の予定です。
皆様の傍聴をお待ちしております。

表紙題字：故 尾方 芳郎氏